



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

くろする〜ど

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよ たす あ 仲良く助け合っ
たの せいかつ ねが かつどう 楽しく生活していくことを願って、活動
つづ けています。

2024/5月号 第292号

かいほうし
会報誌

★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★



★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★

〜サロン月間カレンダー〜5月〜

「今年度の実行委員が決まりました」

■日本語学習会

日時：5月8日(水)～5月31日(金)
月(午前・午後)、水(午後)、金(午後・夜)
場所：会議室・学習室ほか
1日、3日、6日、10日はお休みです。

*土曜学習会は下記のとおりです。

日時：5月11・18・25日(土)午後2時～4時
場所：会議室・学習室ほか
4日はお休みです。

■実行委員会

日時：5月8日(水)午前10時～昼12時
場所：学習室1・2

■日本語教授法研修会

日時：5月9日(木)～毎木曜・午後2時～4時
場所：学習室1・2

■文化交流部会～生け花教室

日時：5月17日(金)午前10時～11時半
場所：工芸室
花代：800円
定員：10名 *申し込みは5/13(月)まで

■フューチャー休館日

5月10日(金)、26日(日)は全館がお休みです。

*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で
聞いてください。

4月8日(月)から、日本語学習会をはじめ新年度の
活動が始まりました。10日(水)には、今年度第1回目
の実行委員会が開催され、2024年度(令和6年度)の
実行委員が以下のように決まりました。

【役員】

会長 和田泰弘
副会長 島田ふみえ
同上 末田圭治
同上 漢人邦夫
会計 小林義弘
川本恵子
監査 辻村俊雄
後藤知子

【日本語学習部会】

月曜午前 部会長 江澤順子
副部会長 笹崎綾子
同上 山下英子
月曜午後 部会長 傳田秀男
副部会長 三好京子
同上 高部 恵
水曜午後 部会長 小柳 進
副部会長 島田ふみえ
同上 小岩井雅人
同上 鹿島伸明
金曜午後 部会長 寺岡奈都子
副部会長 小林義弘
同上 桃井和彦

せ かい ぶん か
世界の文化

「日本語学習発表会の原稿を紹介」

昨年12月9日(土)に、日本語学習発表会がありました。
 そこで発表された内容を随時、紹介します。

ぼうきょう
「望郷のウイグル」

ヌルビヤ・マイマイティ(東トルキスタン)

私はウイグル人です。
 出身地は東トルキスタンのカシュガルです。日本では東トルキスタンを新疆ウイグル自治区と呼んでいます。その呼び方は中国によって作られた名前前で、新しい土地と言う意味です。私達はその呼び方を使いたくありません。東トルキスタンは中国の西側に位置しており、チベット、カザフスタン、タジキスタンなどの国と接しています。首都はウルムチです。日本の4.5倍くらい面積がありますので、東トルキスタンに住むウイグル族は1949年には76%だったのですが、2015年には47%まで比率が下がっています。2020年の国勢調査によるとウイグル族が45%、漢族が41%を占めるようになりました。東トルキスタンには海がありません。綺麗な山や湖などがたくさんあります。天山山脈の最高峰であるポベダ山はキルギズ国境に位置し、標高は7439mあります。また、世界で2番目に大きなタクラマカン砂漠もあります。高地にあるため、冬の平均気温は-11度、夏は23度くらいです。38度を超える時もありますが、湿度が低く蒸し暑くはありません。日本と同じように四季があります。



私たちの母語はウイグル語です。ウイグル語は、テュルク語族の南東語群(カルルク語群)に属する言語で、現代ウズベク語と非常に近い関係にあります。ウイグル語は右から左に書き、文法は日本語と同じ

きんようよる
 金曜夜
 どうじょう
 同上
 ぶかいちょう
 部長
 ふくぶかいちょう
 副部長
 どうじょう
 同上
 どうじょう
 同上
 もりたまきはる
 森田正治
 たじむつお
 田路睦生
 さいとうひさこ
 斎藤久子
 はしもと
 橋本せい子
 かみしまやすこ
 上嶋康子

【日本語ボランティア研修部会】

ぶかいちょう
 部長
 ふくぶかいちょう
 副部長
 かようゆみこ
 萱生由美子
 さとうえいこ
 佐藤英子

【企画部会】

ぶかいちょう
 部長
 かんどくにお
 漢人邦夫
 (副部長は人選中)

【文化交流部会】

ぶかいちょう
 部長
 ふくぶかいちょう
 副部長
 どうじょう
 同上
 どうじょう
 同上
 さとむらめぐみ
 里村 恵
 いちむらひでこ
 市村 秀子
 えのもと
 榎本ふみ子
 やまぐち
 山口ヴァレリー

【生活情報支援部会】

ぶかいちょう
 部長
 ふくぶかいちょう
 副部長
 のがわとよこ
 野川 豊子
 もりおかあきこ
 森岡 暁子

【会報部会】

ぶかいちょう
 部長
 ふくぶかいちょう
 副部長
 すえだけいじ
 末田 圭治
 わだやすひろ
 和田 泰弘

(敬称略)



です。2016年からはウイグル語教育が禁止されてしまいました。宗教はイスラム教です。主食は麺です。代表的な料理はラグメンです。羊肉、玉ねぎ、ピーマン、トマトなどを炒めて手打ちの麺の上に乗せて食べます。味付けは塩です。ポロという米料理もよく食べられています。材料は羊肉、タマネギ、人参、お米、クミン、塩などです。東京にはウイグル料理のお店が四カ所にあります。機会がありましたら、本場の料理を味わってみてください。また、果物の種類が豊富で、ブドウ、ナツメ、ナシ、メロンなどが作られ、日本にもレーズン、ナツメが輸入されています。

私が今着ているのがウイグルの民族衣装です。ウイグル語でアトラスといいます。アトラス以外の民族衣装も沢山あります。また、ドッパという帽子はウイグルのシンボルになっていて、200種類ほどあり、男性用と女性用の区別があります。2009年以降、毎年5月5日には皆が帽子をかぶることでウイグルの文化を大切に「ドッパ文化祭り」が行われています。(1949年以前は「子供の日」として祝われていましたが、中国により禁止されました。)自然以外の観光地としては首都のウルムチにある国際バザールが有名です。そこでは衣装や食べ物など何でも手に入ります。また、私の故郷のカシュガルにあるHeyitgah(ヘイトガ)と言うモスクは歴史が長く、東トルキスタンでは最大のモスクです。カシュガルは昔から東トルキスタンのなかでは文化的に豊かな場所で、古い建物や街並みが残っています。しかし、2017年から政治の問題でモスクや古い建物がどんどん破壊されて魅力が失われています。また、中国産綿花の86%は東トルキスタンで強制労働によって作られています。中国産の綿製品が人権問題に関わっているのでボイコットしている人が増えています。

私は国に帰りたいのですが帰国すると拘束される危険があるので、長く日本で研究を続けています。東トルキスタンは、ほかにも沢山のオススメの観光地があります。国が平和になったらぜひ訪ねてみてください。

「初めてのけいけん(藍染体験)」

エラヒ・ブシュラ (アフガニスタン)

私はエラヒ・ブシュラです。1年半まえにアフガニスタンから日本へきました。今1週間に3回サロンでべんきょうしています。

せんしゅう新しいけいけんをしました…それはあいぞめです。

私は白いバンダナの布をそめました。4このビードマをつかいました。

白いバンダナが青くなりました。そしてわゴムのあとが白くのことって、もようができました!

私がつくったもようはきれいでした。ほかのひとのもようもいろいろあっておもしろかったです。

わからないことや、まようことがありますが、とてもたのしい時間でした。

アフガニスタンにもあいぞめのようなものがあります。プラント(植物)があいかどうかわからないけれど、見るとあいぞめと同じです。

マーケットであいぞめのようなブラウスやTシャツやヘジャブ(スカーフ)をたくさんうっています。

日本でアフガニスタンにもあるものをみて、なつかしかったです。



こうれつひだり 後列左(マスクの方)がエラヒさん

「楽しかった日本の桜まつり」

クシャーール・セルバラジャ (マレーシア)

3月23日と24日の週末、府中市では桜まつりが開催された。約1年前、日本に来てから初めてのお祭りだった。



クシャーールさん (中央)

私はフォークダンスの練習とパレードに参加する機会を得た。4種類の踊りを覚えなければならなかった。最初は大変でしたが、府中国際交流サロンのボランティアの方々にたくさんサポートしていただきました。23日は民族衣装に着替えてスタート。ベトナム、ミャンマー、日本、ドイツ、インドウーなど様々な衣装があり、とても刺激的でした。パレードでは、府中国際交流サロンが府中市の住民の多様性を表現できていると感じました。みんなで楽しく踊れたかな(もっと練習が必要だと思いますが)(笑)。

3月24日には府中公園で、府中国際交流サロンの生徒たちが、誰の名前でもその国の言葉で訳してくれるブースがありました。親子連れとの交流はとても楽しかったです。新しい言葉で新しい言葉を覚えたときの彼らの顔を見るのは、いつだって嬉しいものだ。私はいつも、世界のさまざまな地域の文化を学ぶ効果的な方法だと信じている。

府中市民が、自分たちの住む街に多様な文化があることをもっと知り、理解してほしいと思う。日本に留学している一人の留学生として、これからも日本文化を学び、体験することを楽しみにしています。

府中国際サロンのボランティアの皆さん、いつもありがとうございます。

「晴れ女の勝利！」

文化交流部会長 里村恵

今年の桜まつりの準備は昨年に続きお天気のチェックから始まりました。一ヶ月前、二週間前、一週間前、前日は何と曇り時々雨予報・・・。

昨年は大雨に泣き、今年こそは、と意気込んだ各国18人程の参加者の顔ぶれはどう見ても晴れ、諦められません。満開の笑顔に今年は踊れると確信し、練習にも身が入っていました。

今年是从来から踊っていた『府中小唄』、『東京音頭』に加えいつからか盆踊りに登場した『ダンシングヒーロー』もあります。これは皆が大好きな早いテンポと楽しい振り付けです。かけ声もヘイ！ヘイ！と勢いがあります。そして今回初登場の坂本九さんの『府中音頭』、これは馬のたづなを引く姿勢から始まるので府中競馬場を知る皆は大喜びです。

こうして迎えた当日3月23日(土)は朝方こそ小雨がぱらつきましたが天気予報をくつがえし、パレードの時間帯(午後1時～2時)には薄陽も射して逆転勝利の気分を味わいました。

色とりどり、そして国民色豊かなそれぞれの国の衣装に身を包んだ集団の踊りが「桜通り」で始まりました。咲き誇りを待ちわびる桜の下に満開の笑顔が咲きそろう民謡ながしのパレードは華やかに五年ぶりの桜まつりを大いに盛り上げる事ができました。



皆さんよろしく◇学習者紹介

おし かた こんな教え方しています

～ 17 ～

デニソヴ・アントンさん (ウクライナ)

おし かた がくしゅうしゃ
「教え方は、学習者さんからヒントを」

きんようごご きんようごご
金曜午後ボランティア 関口 まり子

「ウクライナから来ました」

2022年8月にウクライナのメリトポル(ウクライナ語: Мелітополь)から来日しました。サロンには、4月19日から参加しています。家族は、妻と二人の娘(9歳と3歳)の4人で府中に住んでいます。(ご本人の写真は掲載していませんが、ロン毛で笑顔のやさしい育メンのようです。)

ウクライナでは、鉄道関連の電気エンジニアをしていました。

趣味は、ゲーム、アニメ、J-ROCK(日本のロック)で、J-ROCKは、X JAPAN、LUNA SEAのファンです。LUNA SEAのコンサートに横浜まで家族で行きました。

日本の食べ物は、なんでも食べますが、ラーメン、カレーライス、寿司、うどんが好きです。オムライスやカレーライスは、自分で作ります。

ウクライナで好きな食べ物は、ピロシキや、ボルシュ(別名はボルシチ、ウクライナ発祥の料理)です。

日本は、景色も食べ物も人も好きで、富士吉田に旅行して、富士山を見ました。



ご本人撮影の富士山

以前は八王子で日本語の勉強をしていましたが、試験勉強のみだったので、授業のスピードが速く覚えられませんでした。でも、サロンでは自分のペースで勉強できるという印象があります。

(取材・文構成・末田)

サロンの日本語教室は原則として1対1の個人レッスンです。学習者さんの出身国、日本滞在歴、生活環境はさまざまですし、日本語を学ぶ目的もそれぞれ異なるので、希望に沿えるよう、いっしょに計画を立て、学習を進めることになります。

学習者さんの要望は、「上司に提出する報告書を書いたのを見てほしい」「母国の文学作品の日本語訳をいっしょに読んで」など多種多様です。日本に来て1週間の少年は、日本語をまったく話せないのに2日後からラーメン屋で働くといっています。挨拶言葉をいくつか練習した後、笑顔で「さよなら」していききました。

中国の5歳の坊やは、初めて会ったときに発した言葉が「べんきょう、きらいっ」。毎回、屋内探検やゲームなどで遊びました。嬉しいことに、どんどん日本語を覚えてくれました。

家族に半ば強引に参加させられたお年寄りからは、不自由を感じていないので学習の必要はないと言われました。トイレの壁に大きな五十音表が貼られていて、入るたびに気分が悪くなるとのこと。ご家族とよく話し合うよう勧めました。身振り手振りや私の下手な絵で、いつか必要と感じるときが来たらいつでも歓迎しますよと伝えました。(伝わったかな?)。

というわけで、私には「日本語を教えている」という自覚はありません。ずっと学習者さんに導かれてきました。教え方も含めて、学習者さん達からヒントをもらい、教わってきました。感謝あるのみです。

がく しゅう かい
学習会だより



「炊き出しを体験しました」

水曜午後ボランティア 小岩井 雅人

避難所で配られる炊き出し米ってどんな味がするのかなど、ちょっとした思いつきで、炊き出しを作る段階から見てもらおうと企画し、2月28日の学習会の際に料理室で実施しました。まずは50人前のアルファ米のご飯の多さにびっくり、そこにわかめを入れてかき混ぜてお湯を入れて15分でふくらしたわかめご飯が出来上がり、「美味しいわよ」「火を使わないでも出来るんだ」「水で作るよりお湯を入れた方が美味しい」など、たくさんのお話を学びました。パックに入れてご家族で食べてくださいね、とお渡ししたらキラキラした目でありがとうございます。お礼を言われ、うれしくなりました。普段はご挨拶しか交わさない先生方もお願いしたら気軽に引き受けてくれて、やる気満々のその手捌きの早さに感服し、やっぱりみんなで協力してやるって楽しいですね。とても充実した水曜午後部会になったことをご報告いたします。最後に、今回使用したわかめご飯は、イスラム圏の食物認証も取得していることを事前にメーカーに確認いたしました。



備蓄米の炊き出しを体験する水曜午後クラスの方々



「ジャンプルーは藍染の青」

金曜午後ボランティア 奥野 直子

春休み前の最後の日(3月22日)に藍染の体験学習を行いました。当日、金曜クラスの藤平さんと3人の藍染仲間の皆様のご協力を得て、1時間ずつの2つのグループに分かれて作業が始まりました。

白い布地は小さなハンカチかバンダナのサイズ、好きなサイズの布地に思い思いに教えていただいたようにまずは模様作り。丸や四角のビー玉に布をかぶせて、てるてる坊主のように輪ゴムできつくしばる方法、あるいは布を小さく形作り輪ゴムでぐるぐる巻くだけの方法に挑戦。出来上がった布地を、用意してくださった藍液のなかに漬けます。できたての熱々の液のなかで白い布が緑色に染まっていきました。「青じゃない！緑色だ」の声も…でも大丈夫、バケツのなかの藍液をたえずかき混ぜていくうちに緑色から藍色に変化していきました。これは藍液が空気に触れることで青になっていくためだそうです。

少し藍液に浸した後で流水で水洗い。次に色止めが入った水にしばらく漬けておき、最後にもう一度水洗い。そしていよいよ輪ゴムを外します。

あちこちから歓声の声！いろいろな模様が出来上がりました。どれもそれなりの雰囲気をもって素敵でした！時間がなくなり、これをビニール袋に入れて、そのまま持ち帰り。家に帰って、もう一度洗ったら世界に一つしかない私のハンカチの出来上がり！難しい藍染の工程のなかの簡単で楽しいところだけを体験させていただきました。

藍染仲間の皆様が下準備をしてくださったり、ご指導してくださったおかげで短い時間で藍染の楽しさを体験することができました。お世話になりました。感謝です。

「藍の華」～心に残るすてきな言葉発見！

熱々の藍液のなかに紫っぽい小さな泡ができ、

それが集まり、まるで紫陽花のように浮かんでいるのに気がつきました。これは藍の華とよばれ、藍液が発酵している証拠なのだそうです。



藍染を体験した金曜午後クラスの方々



みんなの広場



「日本語を誌上で学習しよう！」

今回は、『みんなの日本語初級Ⅱ』標準問題集の復習(34～42課)からの出題です。日ごろの学習の成果を試してみましょう。例のように、()の中から適切なことばを選んでください。

例：大学に(入る) (入れる) (入られる)のように一生懸命勉強しています。

■問題

- 1) 車を(買う) (買える) (買われる)ために貯金しています。
- 2) 旅行中にカメラを(とって) (とれて) (とられて)しました。
- 3) よく見える(ために) (ように) (のに)、前の方に座りましょう。
- 4) いろいろな人の考え方を(知る) (のは) (のに) (のを)おもしろいです。
- 5) やまと美術館でゴッホの展覧会が(開かれて) (ひら) (のが) (のに) (のを)知っていますか。
- 6) わたしは整理する(のが) (のに) (のを)下手な(のが) (のは) (ので)、部屋を片づける(のが) (のに) (のを)とても時間がかかります。
- 7) わたしは小川さんに車で送って(やりました) (くださいました) (いただきました)。
- 8) わたしは息子を動物園へ連れて行って(やりました) (くださいました) (いただきました)。
- 9) 部長がわたしたちを食事に招待して(やりました) (くださいました) (いただきました)。
- 10) すみませんが、ちょっとコピーを手伝って(やりました) (ませんか) (くださいませんか) (いただきませんか)。
- 11) わたしは弟にカメラを(なくして) (やりました) (なくしてもらいました) (なくされました)。

* 答は編集後記の後にあります。



「日本語教授法研修Ⅰが始まりました」

～編集後記～

今年度の「日本語教授法研修Ⅰ」が、5月9日(木)から始まりました。4月1日付の市の広報で募集を開始しましたが、今回は、募集四日目です。定員の25名に達し、日本語支援ボランティアへの、皆さんの関心の高さが窺えました。

講師は、今回も山田しげみ先生(東京外大オープンアカデミー講師)にご担当いただきます。教授法研修Ⅰの日程は下記のとおりです。

日程：5月9日(木)～7月25日(木)
毎週木曜日の全10回(6月20・27日は除く)
時間：午後2時～4時
場所：「フチャール」第1・2学習室
参加者：25名+現ボランティアの聴講3名
(研修部会)

活動の場が「フチャール」へ移ってから一年が経ちました。以前の北第2庁舎と比べると、地の利が不便になった分、学習者もボランティアも減少するのでは、と気を揉みましたが、この一年間で学習者は90名を超える登録がありました。また、ボランティアも、一昨年、昨年に教授法研修会を受講された23名の新しい方々がボランティア登録をし、活躍されています。

今年度の実行委員会も、巻頭の実行委員一覧にあるように、月曜午後は傳田さん、水曜午後は小柳さん、金曜夜は田路さんと、一昨年、教授法研修を受講された三名がそれぞれの学習部会の新部長に就任されました。また副部長にも、三好さん、桃井さん、森田さん、上嶋さんと、新しい方々が名を連ね、サロンもリフレッシュしつつあります。

今年度も、いろいろな国から新しい学習者がサロンに参加されることを期待しつつ、それぞれの新たな出会いを楽しみにしています。(和田)

「日本語を誌上で学習しよう！」の答

- 1) 買う
- 2) とられて
- 3) ように
- 4) のは
- 5) のを
- 6) のが
- 7) いただきました
- 8) やりました
- 9) くださいました
- 10) くださいませんか
- 11) なくされました

【創刊】 1997年11月

【編集】 編集長：和田泰弘
会報部会：末田・和田・堤林・岩城

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp
サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

